

2019年11月5日

各位

会社名 森尾電機株式会社
 代表者名 代表取締役社長 菊地 裕之
 (コード: 6647、東証第二部)
 問合せ先 取締役 木下 寛
 (TEL. 03-3691-3181)

特別損失（投資有価証券評価損）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年3月期第2四半期において、下記のとおり特別損失（投資有価証券評価損）を計上しましたので、お知らせいたします。また、特別損失の計上に加え、最近の業績動向等を踏まえ、2019年5月13日に公表した2020年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、併せてお知らせいたします。

1. 2020年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2019年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半期 純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	百万円 3,880	百万円 100	百万円 110	百万円 70	円 銭 50.89
今回修正予想（B）	3,823	△70	△70	△96	△69.82
増減額（B－A）	△56	△170	△180	△166	
増減率（％）	△1.4	—	—	—	
（ご参考）前期第2四半期実績 （2019年3月期第2四半期）	4,037	95	100	61	44.96

2. 修正の理由

(1) 特別損失の理由

当社が保有する投資有価証券のうち、簿価に比べて実質価額が著しく下落したため、減損処理による投資有価証券評価損として28百万円を特別損失に計上いたしました。

(2) 2020年3月期第2四半期（累計）連結業績予想

2020年3月期第2四半期（累計）連結業績予想につきまして、売上高は、概ね前回発表予想と同水準となりますが、新規設計案件や現地改修工事案件が集中したため、効率的な生産ができず、営業利益及び経常利益ともに前回発表予想を下回る見込みとなりました。

四半期純利益につきましては、新規設計案件や現地改修工事案件が集中したことで効率的な生産ができなかったことと、投資有価証券評価損を特別損失に計上したことで、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

以上